

# 日本特殊陶業株式会社 伊勢工場

SITE REPORT 2008

所在地：三重県伊勢市円座町字細越871-6

創立：1994年(平成6年)4月

主要事業：電子部品の設計・製造及び半導体部品、内燃機関用センサーの製造

従業員：415人(2008.3.31現在)



## 代表者の緒言



工場長 森 幸則

伊勢市西部、緑多い自然環境の中、伊勢工場も創立14年目を迎え、現在では3事業部と本社機構から成り、ますます仕事の内容も充実・多種多様化してまいりました。

その中で、たえず社会に「良品」を提供するはもとより、企業として・工場として社会的責任を果たすべきコンプライアンスの徹底による、環境リスクの低減等々に対して、継続的に取り組んでいます。

2007年度の伊勢工場3大環境目的、目標達成度は①CO2削減目標 CO2換算360トンに対し、670トン削減できました。②産業廃棄物削減目標164トンに対して166トンと達成。しかし③水資源有効利用目標620m<sup>3</sup>に対して493m<sup>3</sup>の削減に留まりました。

本年も日本特殊陶業グループ「環境宣言2008」「環境方針・環境活動計画」を基本として更に厳しい目的・目標を積極的に掲げ、皆様と共にこの「美味し国」伊勢の地の発展と、日頃の個人の環境活動はもとより信頼される地域企業として、社会的な役割・責任を担ってまいります。周辺地域の方々とのコミュニケーションを図り、環境保全への意欲の向上・環境効率の向上を総員参加で目指し、社会に貢献いたします。

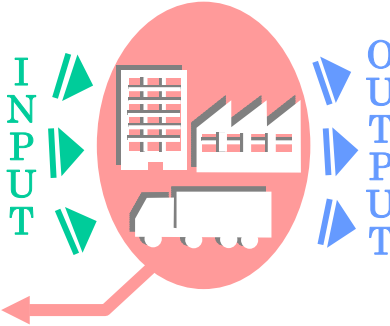
## ISO14001 認証状況



取得年月：2000年12月  
 認証機関：TÜV ラインランドジャパン  
 認証書番号：09 104 8237/4

## マテリアルバランス

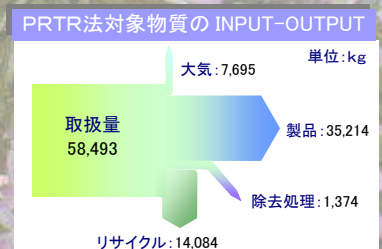
エネルギー	購入電力	: 3,052 万 KWh
	LPG	: 2,145 トン
	ガソリン	: 2,342 L
	軽油	: 1,993 L
紙	紙類	: 99 トン
主要原材料	リユース素地	: 15 トン
その他材料 補助材料	ガス類	: 1,498 トン
	プラスチック材料	: 122 トン
	化学物質	: 843 トン
	油類	: 19 トン
	その他	: 65 トン
水	上水	: 51,946 トン
	リサイクル水	: 308,994 トン



使用エネルギー による CO2 排出量	生産	: 16,521 トン
	輸送	: 11 トン
PRTR 法対象物質 排出量	大気	: 7.7 トン
廃棄物	リサイクル	: 3,247 トン
	埋立・焼却	: 0.1 トン
容器・包装材料	プラスチック類	: 660 トン
	紙類	: 13 トン
	ダンボール	: 83 トン
排水	排水	: 18,814 トン

## 環境データ (調査期間: 2007年4月~2008年3月)

政令 No.	対象化学物質名 [報告対象物質]	取扱量	排出量			除去処理量	製品搬出量
			大気	公共用水域	移動量		
30	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物 (別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。)	1,526				1,374	153
40	エチルベンゼン	1,221	1,154		67		
43	エチレンジオキソール	1,848			1,848		
63	キシレン	6,923	6,541		382		
230	鉛及びその化合物	43,641			8,707		34,807
310	ホルムアルデヒド	1,824			1,824		
311	マンガン及びその化合物	1,510			1,256		254



## 大気・排水・騒音

項目	種類	単位	規制値	自主基準値	平均	MAX
大気	ばいじん	mg/Nm <sup>3</sup>	250	100	5	5
	NOx	ppm	180	140	90	90
排水 (生産系)	pH	—	5.8~8.6	6.0~8.4	7.7	8.0
	SS	mg/L	30	24	1.1	2.0
	BOD	mg/L	10	8	1.0	1.0
	COD	mg/L	15	12	1.0	1.0
	n-ヘキサン	mg/L	5	2.5	<1	<1
	シアン	mg/L	1	0.5	<0.1	<0.1
	銅	mg/L	1	0.5	<0.02	<0.02
	鉛	mg/L	0.1	0.05	<0.01	<0.01
	ホウ素	mg/L	10	5	0.01	0.01
	窒素	mg/L	120	60	0.38	0.80
排水 (生活系)	リン	mg/L	16	8	0.05	0.09
	COD	mg/L	25	20	11.8	17.0
騒音	窒素	mg/L	120	60	13.0	18.0
	リン	mg/L	16	8	1.8	3.2
	朝方	dB	55	55	46.4	46.4
	昼間	dB	60	58	46.4	46.4
	夕方	dB	55	55	49.3	49.3
夜間	dB	50	50	48.5	48.5	

## コンプライアンス (法規制順守)

- 排水(生産系・生活系)の水質分析(2回/月) …… 基準値クリア (1回/年) …… 基準値クリア
- 5, 11月 大気測定実施(2回/年) …… 基準値クリア
- 11月 騒音測定実施(1回/年) …… 基準値クリア
- 11月 土壌分析実施(1回/年) …… 基準値クリア
- 法規制違反、罰金、訴訟の件数 …… 0件
- 利害関係者からの要求の件数 …… 0件

## 2007年度 環境の目的・目標と実績

取り組み項目	目的・目標	2007年度 実績	評価
環境リスク低減	工場排水の管理徹底を図る	工場排水の水質に問題なし	
エコデザイン	超音波振動子：リード線固定用鉛はんだ全廃	鉛はんだ全廃完了	
CO <sub>2</sub> 総排出量の削減	360トン-CO <sub>2</sub> /年の削減対策を実施する	670トン-CO <sub>2</sub> /年の削減対策実施	
廃棄物排出量の削減	164トン/年の削減対策を実施する	166トン/年の対策実施	
廃棄物 ゼロエミッションの維持	有効利用率 98%以上	99.7%	
水資源の有効利用	620m <sup>3</sup> /年の削減対策を実施する	493m <sup>3</sup> /年の削減対策実施	 *1
自然保護と社会貢献の 推進	宮川漁協・伊勢市役所への排水報告 (年1回実施)	6/20,12/26 に報告実施	

\*1・・・メッキライン停止方法変更による削減(624 m<sup>3</sup>/年)が中止になったため

## 2008年度 環境行動計画

項目	2008 年度目標	
マネジメント	環境マネジメントシステム	該当法規制について、自地区で再確認を行う
	環境経営	取組み組織の環境データの集約・管理方法の改善をする
	環境会計	環境会計を継続して報告する
	緊急事態対応訓練	緊急事態対応訓練の実施
	環境リスク	環境関連事故、環境苦情件数ゼロ 工場排水の管理徹底を図る
ファクトリー	エネルギー	伊勢工場全体で 409トン/年の CO <sub>2</sub> 削減対策を実施する
	廃棄物	伊勢工場全体で 164トン/年の廃棄物削減対策を実施する
	水資源	伊勢工場全体で 508m <sup>3</sup> の水削減対策を実施する
	ゼロエミッション	ゼロエミッション(有効利用率 98%以上)の維持継続
	環境負荷物質	PRTR 総排出量を削減する 著しい環境側面の削減検討
インフラ	エコデザイン	ハザードドラック禁止物質の不使用、制限物質の削減
コミュニケーション	ディスクロージャー	サイトレポート 年1回発行 宮川漁協・伊勢市役所への水質報告 年1回実施
	コミュニティ	町内清掃の年2回実施
		工場周辺清掃の実施
	自然環境	地域の環境イベント等へ継続して参加を検討する 工場緑化の推進
イベント	教育・啓蒙	環境教育資料を適時利用できるよう社内公開する 安全衛生・環境大会を年1回開催する

## 2007年度 主な環境取り組み概要

### 化学物質

超音波振動子のリード線固定用はんだの全廃が完了

### CO<sub>2</sub>

屋根塗装塗料変更による省エネ ……26トン-CO<sub>2</sub>/年削減  
排水処理棟ボイラー台数制御による省エネ ……269トン-CO<sub>2</sub>/年削減  
空調チラー省エネタイプへの更新 ……62トン-CO<sub>2</sub>/年削減  
クーロンコンプレッサ台数制御による省エネ ……143トン-CO<sub>2</sub>/年削減

### 廃棄物

汚泥乾燥倉庫の設置による汚泥削減 ……12トン/年削減  
焼成炉 棚板の寿命延長 ……11トン/年削減  
銅スラッジの有価物化 ……12トン/年削減  
有機濃縮装置の倍率変更による削減 ……49トン/年削減

### 水資源

トイレ擬音装置の設置 ……454m<sup>3</sup>/年削減

### 環境大会

9月13,14日 安全衛生・環境大会 2007 伊勢大会を開催

### 地域清掃活動

毎月 工場周辺清掃活動  
近隣地区(円座町・上野町)清掃活動  
8月3日(36名) 3月18日(12名)

## 安全衛生・環境大会 2007



## 地域清掃活動

